



□□□□

東

雲

□□□□

秦野市立東小学校 令和2年6月30日発行



保護者の皆様には日頃より感染拡大防止の取組にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。段階的な学校再開から1ヶ月。子どもたちは、新型コロナウイルスへの対応「新たな生活様式」に戸惑いながらも、このことを意識して学校生活を改めようとしていて、その姿に感心させられます。

朝、学校へ登校すると昇降口が混み合っていたら、校庭に1m間隔で自ら並んで待ちます。その後、教室へ入ると朝のお支度をして手を洗い、健康観察カードを提出します。マスクを着用し、静かに自分のことをして待っている姿が見られ、これまでなら朝から外で遊べるのですが、その気持ちを我慢して今は落ち着いた朝の時間を過ごしています。

授業では、授業前と後で手を洗い、お友だちと接触したり、顔を近づけて話すなどの活動を控えながら、密にならないよう意識して、音楽の合奏など、できる活動が少しずつ増えています。自分との対話の時間や個々に作業をする時間なども大事にしています。

給食の時間は、15分延長し、ゆとりをもって手を洗いお支度をし、そして片付けを行っています。座席は、対面することなく子どもたちみんなが同じ方向を向き、静かに味わうよう心がけています。休み時間は密にならないよう一部の学年だけが校庭を使用し(順番に)、教室ではビデオや音楽を見聞きしながら、静かに過ごすようにしています。

新たな生活様式の中で、「思いやる気持ち」「人を大切にする気持ち」をどう身につけていくのか、子どもたちも教師も、模索しながら場数を踏んで、大事な学びに変えていきます。引き続き、感染防止の取組についてご理解とご協力をお願いいたします。

### 登校途中 ある6年生の児童との会話から

雨の中(先週)、登校途中の6年生と、一緒に歩きながら次のようなお話をしました。

私(校長)「なにか心配なことはありますか？」

6年生「特にありません。」

私「気になることはどう？」

6年生「そうですね、修学旅行、行けるのかな。」とコロナの影響で、自分たちにはどうにもならない事態だと自分なりに理解している様子です。

私「そうだよね、気になるよね。今まだ行けるかどうか決まっていけど、みんなが楽しみにしていることを簡単にあきらめたくないよね。ギリギリまで宿や旅行会社と話し合っ決めてからね」

6年生「遠足かな、でも日光行きたいな」と小さくつぶやきました。



(通学路のアジサイ)

日程や内容がまだはっきりしていない中で、私の苦しい返答でした。最後のつぶやきが心に深く沁みました。修学旅行の目的は、行事を通じて自ら望ましい集団生活を築こうとする実践的な態度を育てることです。これまでに経験したことのない事態の中で、6年生なりにどう向き合っていくのか、その過程を大事にしたいと思っています。